



HOKKAIDO JAPAN  
北海道観光局

日本復興のために北海道が心を込めてできること  
<http://www.visit-hokkaido.jp/heart/>

2011/5/21

北海道ランドオペレーター協議会 平成23年度次総会

# 観光地域づくりプラットフォーム支援事業について

北海道運輸局 企画観光部 観光地域振興課  
門間 俊也



目的は何か？・・・地域経済の活性化？  
住民の地域への誇り回復？  
地域の自然環境の維持？

そのための目標は何か？



# 着地型観光について解決すべき課題は何か？

	団体旅行	個人・グループ旅行
旅行者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ツアーの自由度がなく、選択の幅が狭い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報収集・申し込みが煩雑</li><li>・商品の量・質が十分ではない。</li></ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"><li>・限られたスポットにしか旅行者が来ない</li><li>・大きなロットを受けきれない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・情報発信力が弱い</li><li>・マーケティングができない</li></ul>
旅行会社	<ul style="list-style-type: none"><li>・細かなニーズに対応したツアーが組めない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現地の細かな情報がない</li><li>・小ロットの契約が煩雑</li></ul>

# 観光地域づくりプラットフォームとは何か？

## 観光地域づくりプラットフォーム＝地域と市場をつなぐワンストップ窓口

(観光地域づくりプラットフォームのイメージ)



(観光地域づくりプラットフォームの機能)

### マーケティング

旅行者の需要を踏まえた商品となるようマーケティングを行い、地域のポジショニングを明確化し、地域ブランドを確立する。

### 商品造成

細かな地域資源を旅行商品化する。商品の管理、販売も併せて行う。

### 情報発信

細かな地域資源をとりまとめて一括して情報発信する。

## (北海道ランドオペレーター協議会の機能)

地元の尖った観光資源を伝えたい

尖った情報を持っていても発信力は弱い。  
協議会で直接情報発信できる仕組みを作る。

大手旅行会社との役割分担を明確にし、  
win-winしたい

大手旅行会社では現地の細かい情報は得られない。  
協議会が旅行会社と現地の間に入って中継ぎ役をやる。

地元住民が、地元の観光資源の  
すばらしさに気づいてほしい！

地元住民が地元の観光資源に気づいていない。  
協議会がどうしたら都会の人が喜んでくれるかを伝えたい。

## (観光地域づくりプラットフォームの機能)

マーケティング

旅行者の需要を踏まえた商品となるようマーケティングを行い、地域のポジショニングを明確化し、地域ブランドを確立する。

商品管理

細かな地域資源を旅行商品化する。  
商品の管理、販売も併せて行う。

情報発信

細かな地域資源をとりまとめて一括して情報発信する。

### ODMC

- ・MICEのワンストップ窓口(B2BでありB2C対応はしない)
- ・交通機関やイベントなどの手配、交渉、契約
- ・アフター、ビフォーコンベンションの実施

### ODMO

- ・誘客戦略の検討、立案、実践 (対顧客 )
- ・マーケティング情報の提供 (対事業者)
- ・観光振興の意義の啓蒙 (対住民 )

### OCentral Reservation

- ・情報発信、予約サービスを一元的に行う組織
- ・現地での情報案内、手配にも対応(基本はB2C)
- ・マーケティング活動まではしない

# プラットフォームが何を解決するのか？

	団体旅行	個人・グループ旅行
旅行者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアーの自由度がなく、選択の幅が狭い</li> <li>→ 細かな地域資源を組み込んだツアーからニーズにあったものを選択できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集・申し込みが煩雑</li> <li>→ ワンストップで簡単に情報収集・申し込みができる。</li> <li>・商品の量・質が十分ではない。</li> <li>→ 沢山の尖った商品情報が見られる。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られたスポットにしか旅行者が来ない</li> <li>→ 地域が見て欲しいものに誘客できる。</li> <li>・大きなロットを受け入れられない</li> <li>→ 大口の需要を小分けして受け入れられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信力が弱い</li> <li>→ 細かな地域資源をスケールメリットを持って、情報発信できる。</li> <li>・マーケティングができない</li> <li>→ マーケティングを行い、地域ブランドを確立できる。</li> </ul>
旅行会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かなニーズに対応したツアーが組めない</li> <li>→ 細かな地域資源をパッケージで購入することにより、新たなツアーを造成できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の細かな情報がない</li> <li>→ 細かな情報をワンストップでパッケージで収集できる。</li> <li>・小ロットの契約が煩雑</li> <li>→ 細かな契約をワンストップでパッケージで処理できる。</li> </ul>

観光地域づくりプラットフォームの設立・運営について国費での支援を行う。

※平成22年度まで認定された観光圏のみ対象

## (1) 設立準備段階(1か年)

「観光地域づくりプラットフォーム」設立に掛かる事業計画の策定に対する補助

- ・補助対象事業：計画策定(ワークショップ開催等)
- ・補助対象者：観光圏整備法に基づく協議会
- ・補助額：上限500万円

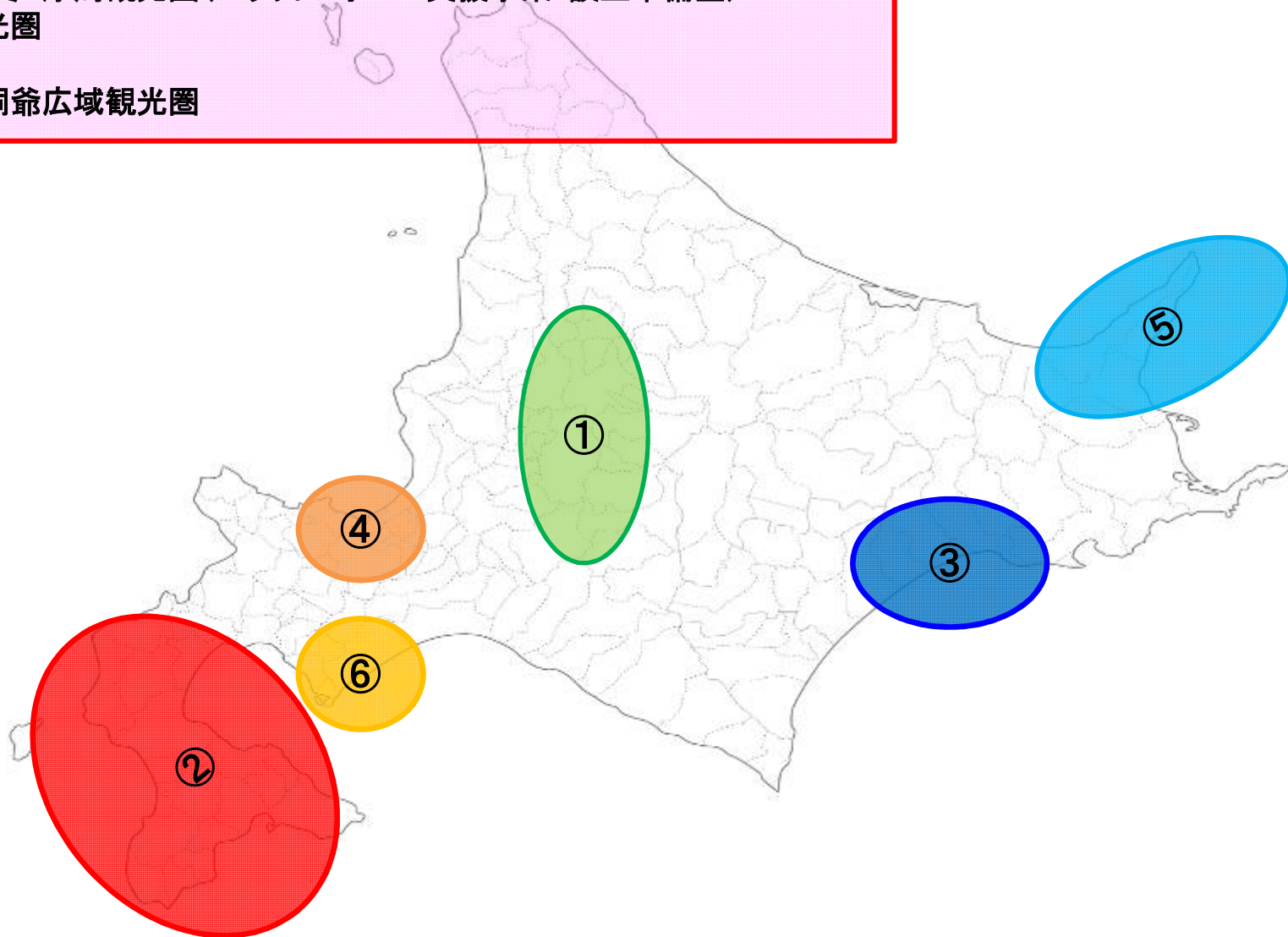
## (2) 運営初期段階(原則2か年)

「観光地域づくりプラットフォーム」が実施する事業に対する補助

- ・補助対象事業：商品企画開発・販売促進、体験・交流・学習促進、人材育成、情報提供 等
- ・補助対象者：法人格を有する「観光地域づくりプラットフォーム」
- ・補助額：事業費の4割

# 北海道内の観光圏及び観光地域づくりプラットフォーム支援事業補助地域

- ①富良野・美瑛広域観光圏(プラットフォーム支援事業:運営初期型)
- ②はこだて観光圏(プラットフォーム支援事業:設立準備型)
- ③釧路湿原・阿寒・摩周観光圏(プラットフォーム支援事業:設立準備型)
- ④札幌広域観光圏
- ⑤知床観光圏
- ⑥北海道登別洞爺広域観光圏



## 観光行政のワンストップ化

市町村をはじめとする観光関係者から相談等があった場合に、ワンストップで機動的な対応により、的確なアドバイスを行う「観光地域づくり相談窓口」を設置しています。

観光立国推進北海道地方省庁連絡会

北海道運輸局 北海道総合通信局 北海道労働局  
北海道経済産業局 北海道開発局  
環境省北海道地方環境事務所

観光地域づくり相談窓口

自治体

観光・交通  
関係者

農業・  
水産業

北海道運輸局を中心とした  
観光行政のワンストップ化

北海道運輸局 企画観光部 観光地域振興課

TEL : 011-290-2722



*One for all, all for one.*

**HOKKAIDO FOR JAPAN**

がんばろう日本応援プロジェクト

日本復興のために北海道が心を込めてできること

<http://www.visit-hokkaido.jp/heart/>